

歴史探訪

クラブ! History Inquiry Club

其の
160



文化生涯学習課 ☎ 23局3635
FAX 22局3811

航空写真から見る三河田原駅 はじめの一歩

平成25年10月、三河田原駅が移転オープンした際に、駅舎内に三河田原駅や渥美線の写真をパネル展示しました。その中であつた昭和2年(1927)撮影の航空写真についてご紹介します。

この航空写真は陸軍航空隊のパイロットだった高畑米一(1905-1930/現在の豊橋市杉山町出身)によって撮影されました。我々が知る限りでは、田原を写した航空写真として、最も古い時期のものです。その



▲三河田原駅と田原のまちなかの航空写真(昭和2年夏)

後、この写真を銅版に焼き付けたものが田原中部小学校の講堂に飾られたほか、地元の写真館が絵はがきにして売り出すなどして流布しました。

写真を見ると、ほとんど全ての家が平屋か二階建てで時代を感じます。また、駅の北側には空き地が目立ちます。駅はこのとき開業からまだ3年。しかも田原の中心部から離れた水田の中に建てられたので、駅前の開発のために埋め立て工事や道路の造成が行われました。写真撮影後、少したつと旅館・飲食店や貨物の倉庫などが駅前に打ちそろういます。(昭和59年まで渥美線は貨物輸送も行っていました)



▲竣工間近の駅前通り線と新三河田原駅の航空写真(H25.10.21)

この後、三河田原駅は渥美半島の玄関口としての役割を果たしつつ現在に至りますが、平成25年の市道・田原駅前通り線の開通と駅の移転オープンによって、長く続いてきた景観が一変しました。三河田原駅のすぐ近くに住んできた私自身、本当に驚くばかりです。

街は刻々と変化し、古いものは新しいものに置き換わっていきます。これはある程度は仕方のないことです。それでも、過去の田原の人々がどう生きてきたか、資料やせめて痕跡なりとも残していければと日々考えています。

(木村)

【写真募集】

田原市博物館では、企画展「渥美線―渥美半島と外界を結ぶ鉄路の物語」(12月6日〜平成27年2月1日)を開催します。そこで、今昔の渥美線に関する写真を探しています。

- ・三河田原駅やその周辺(例：駅前にあつた映画館「東英館」)
- ・貨物などを積み込み、積み下ろししている光景
- ・廃線した区間(三河田原〜黒川原)
- ・鉄道工事が着工したものの中止になつた区間(黒川原〜福江〜堀切)。特に昭和45年以前の線路予定地 など

こうした写真をお持ちの方は田原市博物館(☎22局1720)へご連絡ください。

今月の「表紙」

▼田原福祉専門学校の周りには木陰があり、授業終わりの学生さんたちがおしゃべりしたり、本を読んだり、思い思いに過ごすことができます。そこでされるたわいもない会話は、友情を育み、将来かけがえのない思い出の1ページになるでしょう。彼らの青春の1ページに田原市の風景が残ることを願って。(O)

【表紙の写真】田原福祉専門学校